

農林水産省仮設型直売システム普及事業「マルシェジャポンプロジェクト」

～都市生活の新たなライフスタイルを提案する～

“ヒルズマルシェ”オープン

9月26日(土)から赤坂・アークヒルズで毎週土曜日開催

森ビル株式会社は、農林水産省が推進する「マルシェジャポンプロジェクト」※の一環として、アークヒルズ内アーク・カラヤン広場をメイン会場とし、「ヒルズマルシェ」を9月26日(土)より毎週土曜日に開催いたします。

「いちばんの食材は都市にある」。それがヒルズマルシェ

様々な産地から生まれた様々な産物が届けられ、集積する場所、それが「都市」です。

ヴァーティカルガーデンシティ(立体緑園都市)構想のもと、人々がよりいきいきと「生きる・暮らす」都市づくりを目指す森ビルは、その象徴の一つとして「ヒルズマルシェ(朝市)」をこれから定期的に開きます。

都市に住みながらにして、いや都市に住んでいるからこそ、様々な産地から集まった質の高い食材と出会うことができる。そういう場としてのマルシェ。

生産のプロフェッショナルは、自らが手塩にかけた産物を都市の人々に直接紹介することで、新たな販路づくりになるだけでなく、産物へのこだわり、生産するということの素晴らしさ、大切さを、たくさんの人々に広めることができる。そういう場としてのマルシェ。

料理に携わるプロフェッショナルは、そこに集まった食材を用いて人々の眼前で自らの腕とセンスを余すところなくプレゼンテーションし、結果として産地・産物と都市に暮らす人々との幸福なつなぎ役を果たすことができる。そういう場としてのマルシェ。

様々な立場の人々がその場に集まり、出会い、今までありえなかったおいしい出会い・体験・コミュニケーションが生まれる。私たちはヒルズマルシェを通して、都市に生きるということ「食」という重要なファクターから高め、深めていこうと思います。

都市に生きることは、自然と離れることではない。むしろ、より多くの自然を味わい、楽しむことができる。そういう意味での豊かな生活環境を実現していこうと思います。

日本中でいちばん旬な食材、いちばん上質な料理とライブで出会える場所が、すぐそこにある。それがヒルズマルシェです。

■生産者の顔がわかるヒルズマルシェ

ヒルズマルシェでは、業界のトップレベルやパイオニア的な存在の農家や団体から届けられた産地直送のこだわりの生産物、旬の野菜や果物の販売を行います。さらに野菜だけではなく、花も安心して楽しんでもらいたいとの想いから、東京および近郊の花苗など産地消のものから、全国各地の環境に配慮した花づくりをする生産者に与えられる「MPS-ABC 認証」を受けた花苗までが集まります。そのほかにも、焼きたてパン、加工品など、新鮮、そしてとっておきの食材など、16のテントが並びます。(別紙【参考資料】をご参考下さい。)



シモタファームの霜田さん



藤原ファームの藤原さん



ノースラインのきのこ



MPS 認証の花

【ヒルズマルシェ 概要】

日程： 2009年9月26日(土)より毎週土曜日 ※1/2、2/20 休
時間： 10:00～14:00(予定)
場所： アークヒルズ アーク・カラヤン広場
主催： 森ビル株式会社



■ ヒルズマルシェならではのグルメ ～購入した新鮮な野菜をレストランへ～

マルシェの会場となるアーク・カラヤン広場に隣接するレストランはヒルズマルシェの開催にあわせて 10 時にオープンし、開催日限定メニューが登場します。また、「プレーツ」では、マルシェで購入した新鮮な野菜などを持ち込んでオーダーメイドのピザやパスタを特別につくってもらえるサービス(有料)もあります。

レストラン	マルシェ限定メニュー
プレーツ	「10種類の野菜と紫芋のニョッキのパスタ」(ビュッフェセット1500円) 宝石箱をイメージした色鮮やかなパスタは、10種類の野菜と紫芋ノニョッキでできています。野菜の甘みが抜群においしさをひきたてます。 【マルシェ購入野菜持込可】オーダーメイドのピザやパスタに調理(限定5食)
スープストックトーキョー	定番の人気メニュー「東京ボルシチ」(レギュラーカップ610円)に、ヒルズマルシェの野菜を特別にトッピング
トゥーランドット	「朝粥」、「るろう飯」 (各300円)
オーバカナル	旬の野菜の「サラダマルシェ」(1200円)、「秋野菜とレンズ豆のスープ」(1050円)、「季節の野菜のフォカッチャ」など
Mカフェ ド チャヤ	「オーガニックソイバナナ」ジュース(500円) オーガニックバナナを使用。卵、乳製品、白砂糖は一切使用せず、バナナと豆乳の自然の甘みが絶品です。
アンデルセン	「トマト&オリーブのフォカッチャ」(347円)、「ブロッコリーとベーコンのフォカッチャ」(336円) オープンから焼きたてのパンを提供します。
アークヒルズカフェ	アメリカのトラディショナルフードを現代ニーズにアレンジ。自分流のオーダー、わがままな食べ方などに応えるスタイルを提案 【9/28(月)新規オープン / 9/26(土)プレオープン】※9/26は、店頭でオーガニックベジタブルカレー(580円)を販売

■ ヒルズマルシェならではの注目のラインアップ

マルシェの定番となる産地直送の野菜や果物、花だけではなく、ヒルズマルシェならではのイベントやサービスがマルシェを一層盛り上げます。コンサートやパフォーマンスイベントをはじめ、アークヒルズのレストランのシェフが推薦する加工品などの販売、さらにマルシェをより楽しくしてくれるカゴバックや、料理のアイデアが詰まった本なども揃います。小さなお子様やペットと一緒にマルシェをお楽しみいただけるブースなどもあります。

○ 若手の農家が活躍する「チャレンジファーマーブース」

農家の 65%以上が 60 歳以上といわれる現状の中、若くてやる気のある農家もたくさん頑張っています。家族や仲間たちと一生懸命、一から有機農法に取り組む農家が、週代わりでヒルズマルシェのブースに登場します。生産物ができるまでの想いや、取り組みなどに耳を傾けてみるのもヒルズマルシェならではのです。

○ 脇屋シェフ推薦の物産品

アークヒルズにお店を構える中華の名店「トゥーランドット」脇屋シェフ推薦の北海道と秋田県の物産品。北海道からは、野菜のピクルスやジャム、秋田からは、トマト農家自家製のトマトケチャップや日本のそら豆でつくった手作り豆板醤、また、あきたこまちでつくられたもちもちの食感がおいしい「こまち麺」も販売されます。

○ 雑貨「フェアトレード」のカゴバッグ

マルシェの買い物バッグとして、カゴバッグを推奨します。そのため、マルシェの会場内で、野菜がたっぷり入る大きさのかわいいカゴバッグを販売予定です。原材料は自然素材、すべて手編みでとても丈夫です。エコバッグにも、ピクニックやアウトドアにも、インテリアにも最適です。

○ 食文化にまつわる本や雑貨

キッチンまわり、クッキングなど、食文化にまつわる本や雑貨を揃えて販売します。

○ 犬のための健康デリ「キッチンドッグ」(自由が丘) (※9/26, 10/3, 10/10, 10/17, 10/24)

季節の旬の野菜料理や肉・魚料理まで、バラエティ豊かな犬のための週替わりデリや、保存料・添加物を一切使用しない手作りビスケットなどのご馳走がショーケースに並ぶほか、犬用のナチュラルなケア用品、犬用グッズ、ペット専門のハーバリストが調合したハーブサプリメントなど、自由が丘店で人気のアイテムがずらりと販売されます。

○ ボーネンドキッズマルシェ (※9/26)

木製の果物や野菜で、マルシェごっこが楽しめる、子供のためのマルシェブースが登場します。

○ 「東響バスカーズ」マルシェパレード (※9/26)

サントリーホールとの協力により、東京交響楽団メンバー金管五重奏、ドラム、バグパイプの7名によるマルシェオープニングパレードを行います。マルシェの会場が音楽と活気に満ち溢れます。

○ カラヤン広場の朝ヨガ (※10/10, 10/17, 10/24 AM9:00~9:45)

マルシェがオープンする前の時間に身体を動かして健康に…。朝ヨガを開催します。(講師:マイヤース雪野)

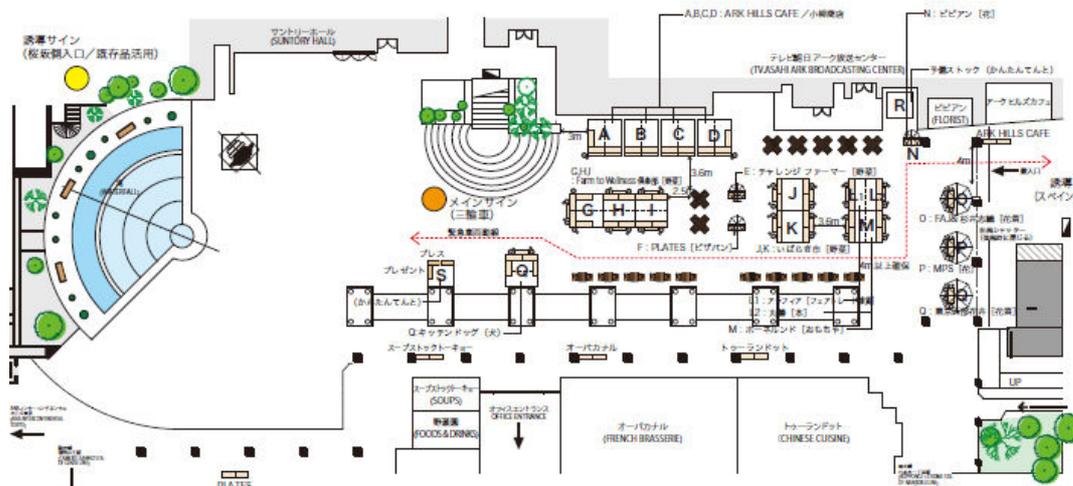
○ フラワーアレンジメント教室 (※10/24, 10/31)

秋の実をつかったアレンジメント教室や、ハロウィンにちなんだミニアレンジなどを、マルシェ会場内の花卉販売ブースで開催します。

○ 手作りかぼちゃパン教室 (※10/31)

カラヤン広場のパン屋「アンデルセン」では、小学生以上の子供を対象にしたパン教室を開催します。

■ ヒルズマルシェ レイアウト (アークヒルズ内アーク・カラヤン広場) ※現時点でのレイアウト



※「マルシェジャポンプロジェクト」とは

農林水産省が、大都市における農産物の直売を支援するため、公園などを活用し、テントなどの仮設施設による直売事業(マルシェ)の構築に向けて運営経費の助成を行うプロジェクト。マルシェの運営者は、生産者等の出店者の募集や会場の準備などを行い、通年に渡ってマルシェを開催することが条件となる。

生産者の所得向上、都市に新たな文化と潤いの空間を創造すること、地域コミュニティの活性化をテーマとし、大都市の消費者を直接関係付けることにより、生産者の生産意欲向上が期待されている。

【参考資料】 ヒルズマルシェのラインアップ

分類	出店	テント	概要	
旬の野菜・果物	いはらき市	2	六本木ヒルズで5年以上(毎週土曜日)、アークヒルズで2年以上(毎週水曜日)開催され、現在も毎回多くの地元ファンが行列する「いはらき市」。いはらき市の人気の理由は鮮度と安さ。茨城県の豊富な農産物がリノベーション豊か(こり揃うほか、生産量全国第一位のアールスメロンやれんこん、わら納豆、10月ごろは焼き栗が注目	
	Farm to Wellness倶楽部	3	「農場から健康へ」をテーマに、農と食をつなぐ架け橋として活動するチーム。全国各地の生産者がネットワークされているため、その時期、一番おいしく、栄養価の高い野菜が、全国の産地から集まってきました。野菜のもつ「力」を数値化する一方で、野菜と健康づくりとの関連性を明らかにし、野菜の新たな価値を創出するとともに、「健康」へのニーズにこたえます。北海道「和田農園」、茨城県「霜田ファーム」、群馬県「耕人会」、10月からは「チームやまいか」などから、本物のこだわり野菜が届き、全国各地から今が旬な有機野菜や減農薬野菜、きのこなども揃います。またアイスや、ハーブティーや野菜チップスなどの加工品にも注目です。	
			「シモタファーム」(茨城県)	霜田増雄さんは、栽培過程を科学的に分析し安心の生食野菜を生産しています。海外を旅して学んだ独自の方法で、毎日20種以上、年間では70種以上のハーブを出荷しているハーブ専門農家さんです。肥料は全て自家製で、堆肥、土壌、作物の分析も自社で行っています。土、酸素、太陽、微生物、そしてそこで育まれる作物を全て繋げて分析し、数値を把握して次の栽培に活かしています。
			「三浦半島EM研究会」(神奈川県)	EM(有用微生物群)と米ぬかなどの有機物を活用し、「美味しく、健康に野菜は土づくりから」をモットーに長年土づくりに努力し、極力農薬や化学肥料を使用しない農業に取り組んでいる生産者グループ。三浦市の大根、横須賀市のキャベツ専業農家がメンバーです。
			「ノースライン」(新潟県)	えのき、なめこ、ふなしめじ等の菌茸類を取り扱っており、生産者が丹精こめて育てた商品をいち早く、消費者へ届けます。珍しいきのこも取り扱う、きのこのバイオニア
			「耕人会」(群馬県)	環境に配慮した栽培に対する基本理念は土造りをベースに、輪作体系と堆肥、緑肥作物を投入し、保肥力(CEC)の向上と微量要素(ミネラル)を有機で補給し、土壌バランスの良い健康の妨がら、食して滋養になる野菜づくりを目指しています。レタス類やキャベツ、白菜などを取り扱います。
			「有限会社アクト農場」(茨城県)	自社内で肥育する肉牛からでる自家製堆肥を用いることで、農畜連携型の循環環境を整備。自然との共存と、無農薬栽培、安定供給のそれぞれのバランスを高次元化していくことを念頭に置くと同時に、美味しさを兼ね備えた製品づくり。小松菜、水菜、ルッコラ、バジル、セルパチコなどを取り扱います。
			「いはらき農流研」(茨城県)	茨城県内の36の農場で組織され、すべての農場が「JCAP」認証を取得。安全な農産物の生産、環境負荷の低減、安心を生むトレスビリティを実現する工程管理に追及。レタス類やキャベツ、白菜など中心に取り扱います。
	「北佐久園芸生産組合」(長野県)	浅間山の麓、標高800~1100mの高原にて高原野菜の生産を行っており、レタス、サニーレタス、グリーンリーフレタス、キャベツなどを取り扱います。食味の良い安全な野菜を健全な方法で生産するという理念のもと独自の肥料を開発し、この土地の気候にあった作物を健全な方法で生産しています。		
	チーム小柳	4	小柳商店の小柳洋さんが全国各地の農家をたずね、「おいしい」と思った野菜を販売します。 「藤原ファーム」(岡山県) 藤原稔司さんは、ヨーロッパの農家に住み込み、栽培方法や本場の家庭料理も勉強。西洋野菜栽培の第一人者日本でトップレベルの洋野菜農家です。最近人気の洋野菜、スーパーマーケットではなかなか見かけない、ハーブやミックスリーフなどが種類も豊富に並びます。大阪や東京の高級レストランを中心に400件近く取引しているファームです。 「坂野農園」(長野県) 坂野農園では、ひとつひとつのりんごに愛情を注ぎ、手間を惜しまず、時間をかけて丁寧に育てています。おいしさの秘密は、「肥料」へのこだわりと「つくりかた」へのこだわりです。土にはあまり肥料をやらずに自然の力を信じ、より美味しいりんごを作るために、葉摘みを最小限におさえたり、無袋栽培・樹上完熟など様々な工夫をしています。	
花苗	MPSジャパン		MPSフラワーとは、環境に配慮した花づくりへの取り組みを認証する「MPS-ABC認証」を取得した生産者がつくるお花のことです。MPS-ABC認証とは、5つの環境負荷(農薬、肥料、エネルギー、水の使用状況、および廃棄物の分別)を登録し、審査を受けた生産者に与えられる認証です。消費者に安心なお花を届けるだけでなく、栽培地の環境保全にも大きな役割を果たしています。	
	東京西部花卉		地産地消。東京およびその近郊産の花苗に加え、鉢、土、資材も販売。マイプランターを持ち込めば、グリーンアドバイザーの指導のもと、その場で寄せ植えをつくってくれます。秋の七草もそろいます。 【持込アレンジサービス】	
	FAJ(フラワーオークションジャパン) & 杉井志織		花苗 & 野菜苗 & 切花。デモンストレーションとワークショップで、植物の使い方、楽しみ方を提案しながら販売します。 【ワークショップあり】	
	川崎植物卸売センター		神奈川と千葉の植物を中心に、季節の花苗・観葉植物などを販売します。	
	ヒビアン		アークヒルズカラヤン広場に面したところにお店を構えるヒビアン。ミニブーケと季節の切花等を販売します。ワイングラスやフラワーベースなど、好きな器を持ち込めば、それに直接アレンジしてくれます。 【持込アレンジサービス】	

◇本件に関するお問合せ◇

森ビル株式会社

タウンマネジメント事業室PR 担当: 松島、秋田

広報室 担当: 野村、堀岡、深野

TEL: 03-6406-6382

TEL: 03-6406-6606

FAX: 03-6406-6483

FAX: 03-6406-9306